

# 令和3年 群馬県の人口動態統計概況 (概数)



目次		ページ
<b>【総覧】</b>		
1	人口動態の概要	1
	第1表 人口動態総覧，対前年・全国	
2	人口動態諸率の年次推移の概要	3
	第1図 人口動態諸率の年次推移	
	第2表 人口動態総覧，率の年次推移・対全国	
<b>【出生】</b>		
3	出生数・合計特殊出生率	5
	第3表 母の年齢(5歳階級)別出生数・構成比，対前年・全国	
	第4表 合計特殊出生率の年次推移，対全国	
<b>【死亡】</b>		
4	死亡数	6
	第5表 死亡数の年次推移，性・年齢(5歳階級)別	
5	主要死因の概要	7
	第2図 主要死因，率(人口10万対)の年次推移	
	第6表 十大死因順位，対前年・全国	
	第3図 死因別死亡割合，対全国	
6	三大疾病の概要	9
	第7表 三大疾病死亡数・死亡総数に占める割合，性・年齢(10歳階級)別	
7	悪性新生物部位別死亡の概要	10
	第8表 悪性新生物部位別死亡数・率・構成割合，対前年・全国	
8	不慮の事故の概要	11
	第9表 不慮の事故－交通事故の死亡者数・率・構成割合	
9	自殺の概要	12
	第10表 自殺死亡者数・率・構成割合	



## 【総 覧】

### 1 人口動態の概要

(1) 出 生 「出生数は減少し、率は全国を下回る。」

出生数は11,236人で、前年に比べ424人減少し、過去最低となった。

出生率（人口千対）は6.0で前年より0.2ポイント低下。全国の6.6を0.6ポイント下回った。

(2) 死 亡 「死亡数は増加し、率は全国を上回る。」

死亡数は24,304人で、前年に比べ1018人増加し、戦後最大となった。

死亡率（人口千対）は13.0で前年より0.6ポイント上昇。全国の11.7を1.3ポイント上回った。

(3) 乳 児 死 亡 「乳児死亡数は増加し、率は全国を上回る。」

乳児死亡数は25人で、前年に比べ7人増加した。

乳児死亡率（出生千対）は2.2で前年より0.7ポイント上昇。全国の1.7を0.5ポイント上回った。

(4) 自 然 増 加 「自然増加数は前年を下回り、率は全国を下回る。」

自然増加数はマイナス13,068人で、前年に比べ1442人減少し、過去最大の減少となった。

増加率（人口千対）はマイナス7.0で前年より0.8ポイント低下。全国のマイナス5.1を1.9ポイント下回った。

(5) 死 産 「死産数は減少し、率は全国を上回る。」

死産数は247胎で、前年に比べ29胎減少した。

死産率（出産千対）は21.5で前年より1.6ポイント低下。全国の19.7を1.8ポイント上回った。

(6) 周 産 期 死 亡 「周産期死亡数は減少し、率は全国と同じ。」

周産期死亡数は38人で、前年に比べ6人減少した。

周産期死亡率〔出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対〕は3.4で前年より0.4ポイント低下。全国の3.4と同値であった。

(7) 婚 姻 「婚姻件数は減少し、率は全国を下回る。」

婚姻件数は6,787組で、前年に比べ257組減少し、過去最低となった。

婚姻率（人口千対）は3.6で前年より0.1ポイント低下。全国の4.1を0.5ポイント下回った。

(8) 離 婚 「離婚件数は減少し、率は全国を上回る。」

離婚件数は2,842組で、前年に比べ15組減少した。

離婚率（人口千対）は1.52で前年と同じ。全国の1.50を0.02ポイント上回った。

(9) 合計特殊出生率 「合計特殊出生率は低下し、全国を上回る。」

合計特殊出生率は1.35で前年より0.04ポイント下回った。全国の1.30を0.05ポイント上回った。

(10) 平均初婚年齢 「平均初婚年齢は夫は低下・妻は上昇し、全国をそれぞれ下回る。」

平均初婚年齢は夫が30.9歳で前年より0.1歳下回り、妻が29.3歳で前年より0.1歳上昇した。

夫は全国の31.0歳を0.1歳下回り、妻は全国の29.5歳を0.2歳下回った。

第1表 人口動態総覧，対前年・全国

項目	実数				率				平均発生間隔			
	群馬県		全国		群馬県		全国		群馬県		全国	
	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
									時 分 秒	分 秒	時 分 秒	時 分 秒
出生	11,236	11,660	811,604	840,835	6.0	6.2	6.6	6.8	0 : 46 : 47	0 : 45 : 12	0 : 00 : 39	0 : 00 : 38
男	5,781	6,008	415,889	430,713	6.3	6.5	7.0	7.2	1 : 30 : 55	1 : 27 : 43	0 : 01 : 16	0 : 01 : 13
女	5,455	5,652	395,715	410,122	5.8	5.9	6.3	6.5	1 : 36 : 21	1 : 33 : 15	0 : 01 : 20	0 : 01 : 17
死亡	24,304	23,286	1,439,809	1,372,755	13.0	12.4	11.7	11.1	0 : 21 : 38	0 : 22 : 38	0 : 00 : 22	0 : 00 : 23
男	12,726	12,044	738,105	706,834	13.8	13.0	12.4	11.8	0 : 41 : 18	0 : 43 : 46	0 : 00 : 43	0 : 00 : 45
女	11,578	11,242	701,704	665,921	12.3	11.8	11.1	10.5	0 : 45 : 24	0 : 46 : 53	0 : 00 : 45	0 : 00 : 47
乳児死亡	25	18	1,398	1,512	2.2	1.5	1.7	1.8	350 : 24 : 00	488 : 00 : 00	6 : 15 : 58	5 : 48 : 34
新生児死亡	7	10	657	704	0.6	0.9	0.8	0.8	1251 : 25 : 43	878 : 24 : 00	13 : 20 : 00	12 : 28 : 38
自然増加	△ 13,068	△ 11,626	△ 628,205	△ 531,920	△ 7.0	△ 6.2	△ 5.1	△ 4.3	...	...	...	...
死産	247	276	16,277	17,278	21.5	23.1	19.7	20.1	35 : 27 : 56	31 : 49 : 34	0 : 32 : 17	0 : 30 : 30
自然死産	112	132	8,086	8,188	9.8	11.1	9.8	9.5	78 : 12 : 51	66 : 32 : 44	1 : 05 : 00	1 : 04 : 22
人工死産	135	144	8,191	9,090	11.8	12.1	9.9	10.6	64 : 53 : 20	61 : 00 : 00	1 : 04 : 10	0 : 57 : 59
周産期死亡	38	44	2,741	2,664	3.4	3.8	3.4	3.2	230 : 31 : 35	199 : 38 : 11	3 : 11 : 45	3 : 17 : 50
妊娠満22週以後の死産	31	35	2,236	2,112	2.8	3.0	2.7	2.5	282 : 34 : 50	250 : 58 : 17	3 : 55 : 04	4 : 09 : 33
早期新生児死	7	9	505	552	0.6	0.8	0.6	0.7	1251 : 25 : 43	976 : 00 : 00	17 : 20 : 48	15 : 54 : 47
婚姻	6,787	7,044	501,116	525,507	3.6	3.7	4.1	4.3	1 : 17 : 27	1 : 14 : 49	0 : 01 : 03	0 : 01 : 00
離婚	2,842	2,857	184,386	193,253	1.52	1.52	1.50	1.57	3 : 04 : 56	3 : 04 : 28	0 : 02 : 51	0 : 02 : 44
合計特殊出生率	...	...	...	...	1.35	1.39	1.3	1.33	...	...	...	...
平均初婚年齢	夫	30.9	31.0	31.0	31.0	...	...	...	...	...	...	...
	妻	29.3	29.2	29.5	29.4	...	...	...	...	...	...	...

## 2 人口動態諸率の年次推移の概要

人口動態の率の年次推移をみると、出生率は昭和23年以降低下傾向を示し、その後昭和37～48年にかけて（昭和41年の「ひのえうま」を除く。）上昇傾向にあったが、昭和46～49年の第2次ベビーブーム期以降低下傾向に転じた。令和3年は6.0で前年より0.2ポイント低下し、過去最低だった。

死亡率は、昭和23年以降低下傾向にあったが、近年は緩やかな上昇傾向を示している。令和3年は13.0で前年より0.6ポイント上昇し、戦後2番目に高かった。

婚姻率は、昭和47年以降低下傾向にあり、平成2年から上昇傾向に転じたが、平成12年以降は微増、微減を繰り返しながら低下傾向となっている。令和3年は3.6で前年より0.1ポイント低下し、過去最低となった。

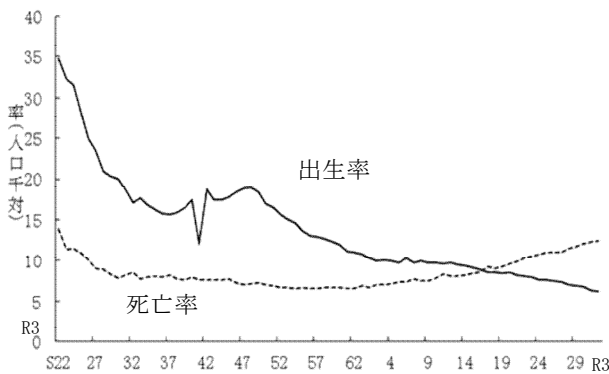
離婚率は、昭和37年の0.52を最低に上昇傾向にあり、平成14年に2.16と過去最高になったが、その後は微増、微減を繰り返しながら緩やかな低下傾向を示している。令和3年は1.52で前年と同じであった。

死産率は、昭和44年以降低下傾向にあったが、近年は横ばい傾向である。令和元年に26.3と上昇したが、令和2年は23.1で前年より3.2ポイント、令和3年は21.5で前年より1.6ポイント低下した。

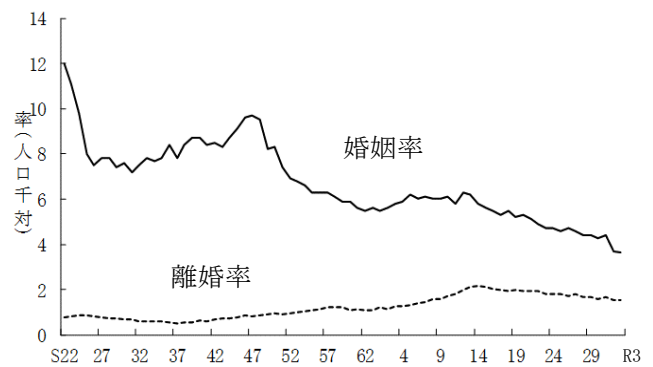
合計特殊出生率は、第2次ベビーブーム時の昭和49年に2.23を記録して以降、低下傾向にあり、平成16年には1.35まで低下した。その後は増減を繰り返しながら緩やかに上昇し、近年は横ばい傾向にあったが、令和元年には、1.40に低下し、その後も令和2年は1.39で前年より0.01ポイント、令和3年は1.35で前年より0.04ポイント低下した。

### 第1図 人口動態諸率の年次推移

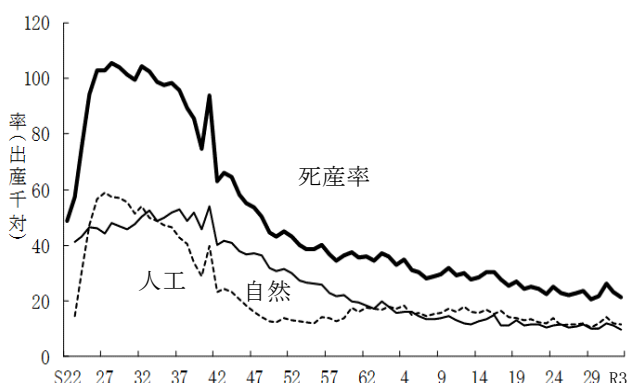
(1) 出生率・死亡率の年次推移



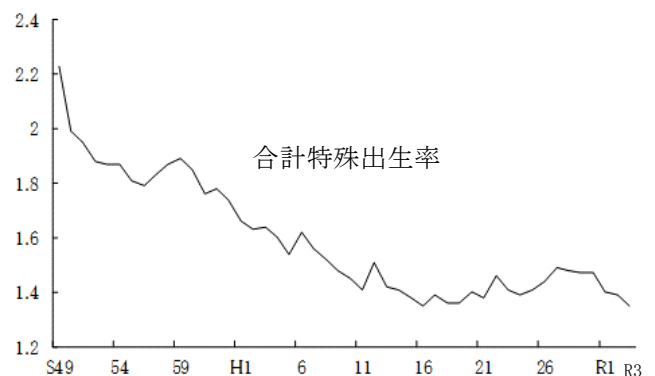
(2) 婚姻率・離婚の年次推移



(3) 死産率(自然・人工別)の年次推移



(4) 合計特殊出生率の年次推移





## 【出生】

### 3 出生数・合計特殊出生率

－全体として出生数が減少－

令和3年の出生数は11,236人で、前年に比べ424人減少し、過去最少となった。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、最も多かったのは「30～34歳」の3,881人で、全出生数のうち34.5%を占めた。次いで「25～29歳」の3,160人（全出生数の28.1%）、「35～39歳」の2,465人（同21.9%）の順であった。

対前年増減をみると、「20～24歳」は33人減少、「25～29歳」は62人減少、「30～34歳」は259人減少、「35～39歳」は75人減少、「40～44歳」は10人増加している。

出生数						
	群馬県			全国		
	令和3年	令和2年	増減	令和3年	令和2年	増減
総数	11,236	11,660	△424	811,604	840,835	△29,231
～14歳	1	—	1	32	37	△5
15～19歳	88	102	△14	5,509	6,911	△1,402
20～24歳	1,020	1,053	△33	59,894	66,751	△6,857
25～29歳	3,160	3,222	△62	210,427	217,804	△7,377
30～34歳	3,881	4,140	△259	292,435	303,436	△11,001
35～39歳	2,465	2,540	△75	193,173	196,321	△3,148
40～44歳	602	592	10	48,516	47,899	617
45～49歳	19	10	9	1,597	1,624	△27
50歳以上	—	1	△1	20	52	△32
不詳	—	—	—	1	—	1
出生数の総数に占める割合 (%)						
	群馬県			全国		
	令和3年	令和2年	増減	令和3年	令和2年	増減
総数	100.0	100.0	—	100.0	100.0	—
～14歳	0.0	—	0.0	0.0	0.0	△0.0
15～19歳	0.8	0.9	△0.1	0.7	0.8	△0.1
20～24歳	9.1	9.0	0.0	7.4	7.9	△0.6
25～29歳	28.1	27.6	0.5	25.9	25.9	0.0
30～34歳	34.5	35.5	△1.0	36.0	36.1	△0.1
35～39歳	21.9	21.8	0.2	23.8	23.3	0.5
40～44歳	5.4	5.1	0.3	6.0	5.7	0.3
45～49歳	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0
50歳以上	—	0.0	△0.0	0.0	0.0	△0.0

(注) 総数には、母の年齢不詳を含む。

－合計特殊出生率は低下－

令和3年の合計特殊出生率は1.35で前年より0.04ポイント低下した。

全国では、令和3年は1.30で前年より0.03ポイント低下し、群馬県は8年連続で全国より高い数値となった。

第4表 合計特殊出生率の年次推移、対全国

	昭和35年	45	50	55	平成2年	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元年	令和2年	令和3年
群馬県	2.03	2.16	1.99	1.81	1.63	1.56	1.51	1.39	1.46	1.41	1.39	1.41	1.44	1.49	1.48	1.47	1.47	1.40	1.39	1.35
全国	2.00	2.13	1.91	1.75	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30

## 【死 亡】

### 4 死亡数

－全体として死亡数が増加－

令和3年の死亡数は24,304人で、前年に比べ1018人増加した。  
これを性別にみると、男は682人増加し、女は336人増加した。  
年齢別にみると、男女ともに「90歳以上」で増加が大きくなっている。

第5表 死亡数の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

	死 亡 数			対前年増減		
	令和3年	令和2年	令和元年	令和3年	令和2年	令和元年
総 数	24,304	23,286	23,254	1,018		32
0～4歳	33	27	29	6		△ 2
5～9	6	3	4	3		△ 1
10～14	6	5	2	1		3
15～19	15	21	18	△ 6		3
20～24	39	41	33	△ 2		8
25～29	37	33	33	4		—
30～34	46	41	40	5		1
35～39	72	72	70	—		2
40～44	140	119	127	21		△ 8
45～49	208	231	250	△ 23		△ 19
50～54	331	311	300	20		11
55～59	455	393	410	62		△ 17
60～64	658	619	645	39		△ 26
65～69	1,169	1,234	1,426	△ 65		△ 192
70～74	2,277	2,123	2,071	154		52
75～79	2,718	2,741	2,754	△ 23		△ 13
80～84	3,788	3,615	3,645	173		△ 30
85～89	4,823	4,672	4,705	151		△ 33
90歳以上	7,483	6,985	6,692	498		293
不詳	—	—	—	—		—
総 数	12,726	12,044	11,896	682		148
0～4歳	15	14	12	1		2
5～9	5	—	1	5		△ 1
10～14	5	2	—	3		2
15～19	9	17	11	△ 8		6
20～24	29	25	25	4		—
25～29	26	23	21	3		2
30～34	36	26	28	10		△ 2
35～39	43	38	50	5		△ 12
40～44	105	77	76	28		1
45～49	137	141	157	△ 4		△ 16
50～54	227	202	187	25		15
55～59	315	261	270	54		△ 9
60～64	458	448	449	10		△ 1
65～69	855	860	989	△ 5		△ 129
70～74	1,578	1,477	1,436	101		41
75～79	1,817	1,770	1,763	47		7
80～84	2,275	2,145	2,109	130		36
85～89	2,375	2,308	2,266	67		42
90歳以上	2,416	2,210	2,046	206		164
不詳	—	—	—	—		—
総 数	11,578	11,242	11,358	336		△ 116
0～4歳	18	13	17	5		△ 4
5～9	1	3	3	△ 2		—
10～14	1	3	2	△ 2		1
15～19	6	4	7	2		△ 3
20～24	10	16	8	△ 6		8
25～29	11	10	12	1		△ 2
30～34	10	15	12	△ 5		3
35～39	29	34	20	△ 5		14
40～44	35	42	51	△ 7		△ 9
45～49	71	90	93	△ 19		△ 3
50～54	104	109	113	△ 5		△ 4
55～59	140	132	140	8		△ 8
60～64	200	171	196	29		△ 25
65～69	314	374	437	△ 60		△ 63
70～74	699	646	635	53		11
75～79	901	971	991	△ 70		△ 20
80～84	1,513	1,470	1,536	43		△ 66
85～89	2,448	2,364	2,439	84		△ 75
90歳以上	5,067	4,775	4,646	292		129
不詳	—	—	—	—		—

(注) 総数には年齢不詳を含む。



## 5 主要死因の概要

### －「老衰」は上昇傾向－

平成 29 年から死因統計に使用する分類が変更されたことに伴い、死因を選択する統計上のルールも変更されている。死因別死亡数の一部にみられる数値の大幅な変更には、これらの影響による変動が含まれていることに御留意願いたい。

主な死因の年次推移をみると、「**悪性新生物<腫瘍>**」は昭和 60 年から死因順位の第 1 位となっている。令和 3 年は死亡数・率ともに前年を上回り、死亡率も全国を上回っている。

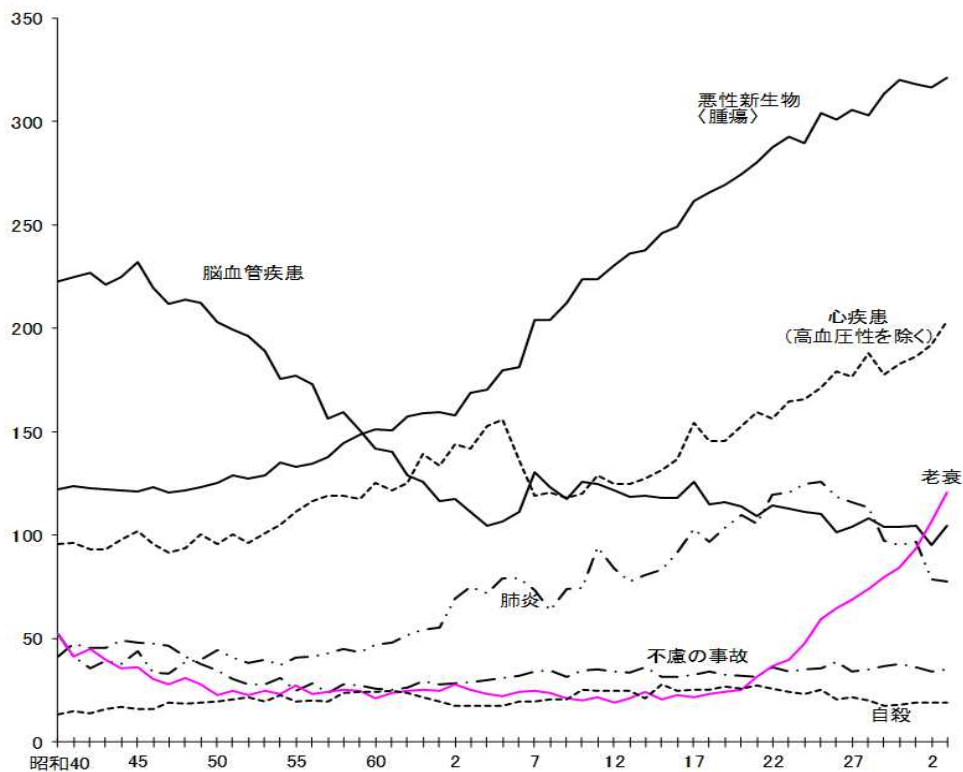
第 2 位の「**心疾患（高血圧性を除く）**」は、昭和 63 年に「**脳血管疾患**」と順位を入れ替え第 2 位となった。平成 7 年、8 年及び 10 年には第 3 位となったが、11 年から再び第 2 位となり、その後、死亡率の上昇低下を繰り返しながらも上昇傾向が続いている。

第 3 位の「**老衰**」は、平成 17 年以降上昇し続けており、平成 21 年には「**不慮の事故**」「**自殺**」と順位を入れ替え、第 5 位となった。その後も上昇を続け、令和 2 年には「**脳血管疾患**」「**肺炎**」と順位を入れ替え、初めて死因の第 3 位となった。

第 4 位の「**脳血管疾患**」は、昭和 60 年に第 1 位から第 2 位に、63 年には第 3 位となり、低下傾向が続いていたが、平成 5 年から上昇し、7 年、8 年、10 年には第 2 位となった。11 年以降は第 3 位で、死亡率の上昇低下を繰り返しながらも緩やかな減少傾向にあった。22 年に「**肺炎**」と順位を入れ替え第 4 位、29 年に再び順位を入れ替え第 3 位となったが、令和 2 年に「**老衰**」と順位を入れ替え第 4 位となった。

第 5 位の「**肺炎**」は、昭和 49 年に「**不慮の事故**」と順位を入れ替え第 4 位となった。その後死亡率は上昇と低下を繰り返しながらも徐々に上昇していき、平成 22 年以降は「**脳血管疾患**」と順位を入れ替え第 3 位、29 年に再び順位を入れ替え第 4 位となったが、令和 2 年に「**老衰**」と順位を入れ替え第 5 位となった。

第 2 図 主要死因，率（人口 10 万対）の年次推移



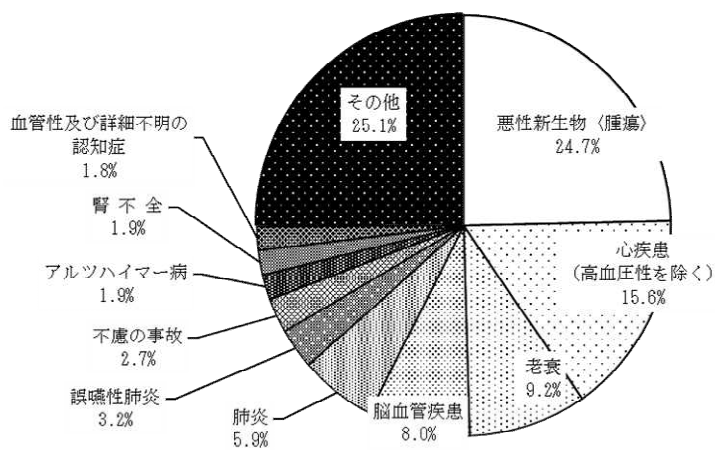
(注) 平成 6 年までの「心疾患（高血圧性を除く）」は、「心疾患」である。

第6表 十大死因順位, 対前年・全国

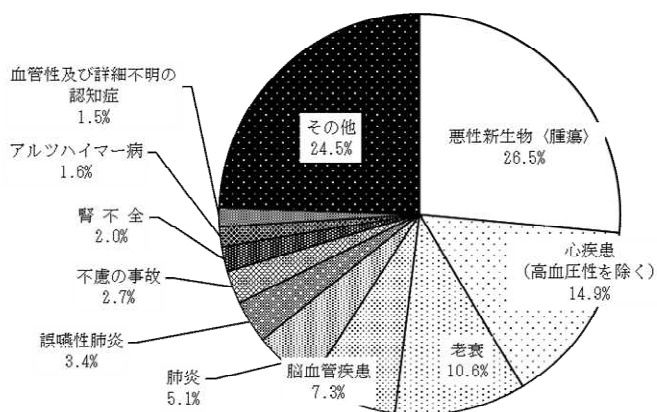
区分	死 因 順 位	死 因	令和3年			令和2年		
			死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡総数に 占める割合(%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡総数に 占める割合(%)
群馬県	第1位	悪性新生物〈腫瘍〉	5,993	321.2	24.7	5,950	316.5	25.6
	2	心疾患 (高血圧性を除く)	3,800	203.6	15.6	3,614	192.3	15.5
	3	老衰	2,246	120.4	9.2	2,006	106.7	8.6
	4	脳血管疾患	1,947	104.3	8.0	1,791	95.3	7.7
	5	肺炎	1,446	77.5	5.9	1,480	78.7	6.4
	6	誤嚥性肺炎	770	41.3	3.2	728	38.7	3.1
	7	不慮の事故	652	34.9	2.7	645	34.3	2.8
	8	アルツハイマー病	466	25.0	1.9	391	20.8	1.7
	9	腎不全	454	24.3	1.9	475	25.3	2.0
	10	血管性及び詳細不明 の認知症	433	23.2	1.8	418	22.2	1.8
		その他	6,097	326.7	25.1	5,788	307.9	24.9
	全死因	24,304	1,302.5	100.0	23,286	1,238.7	100.0	
全国	第1位	悪性新生物〈腫瘍〉	381,497	310.7	26.5	378,385	306.6	27.6
	2	心疾患 (高血圧性を除く)	214,623	174.8	14.9	205,596	166.6	15.0
	3	老衰	152,024	123.8	10.6	132,440	107.3	9.6
	4	脳血管疾患	104,588	85.2	7.3	102,978	83.5	7.5
	5	肺炎	73,190	59.6	5.1	78,450	63.6	5.7
	6	誤嚥性肺炎	49,489	40.3	3.4	42,746	34.6	3.1
	7	不慮の事故	38,296	31.2	2.7	38,133	30.9	2.8
	8	腎不全	28,686	23.4	2.0	26,948	21.8	2.0
	9	アルツハイマー病	22,960	18.7	1.6	20,852	16.9	1.5
	10	血管性及び詳細不明 の認知症	22,343	18.2	1.6	20,815	16.9	1.5
		その他	352,113	286.8	24.5	325,412	263.7	23.7
	全死因	1,439,809	1,172.7	100.0	1,372,755	1,112.5	100.0	

第3図 死因別死亡割合, 対全国

(1) 群馬県



(2) 全国



## 6 三大疾病の概要

### －三大疾病による死亡者は男女ともに増加－

一般的に悪性新生物、心疾患、脳血管疾患を三大疾病と呼ぶが、三大疾病による死亡数は11,740人で前年に比べ385人増加した。男は6,415人で前年に比べ251人増加、女は5,325人で前年に比べ134人増加した。また、全死亡数に占める割合は48.3%で、前年の48.8%より0.5ポイント低下している。

なお、令和3年の上位3死因は、県、全国ともに悪性新生物、心疾患、老衰であった。

〔悪性新生物<腫瘍>〕 5,993人で前年に比べ43人増加した。男は3,604人で前年に比べ97人増加し、女は2,389人で前年に比べ54人減少した。全死亡数に占める割合は24.7%で前年の25.6%より0.9ポイント低下、全国の26.5%を1.8ポイント下回った。

〔心疾患(高血圧性を除く)〕 3,800人で前年に比べ186人増加した。男は1,842人で前年に比べ69人増加し、女は1,958人で117人増加した。全死亡数に占める割合は15.6%で前年の15.5%より0.1ポイント上昇、全国の14.9%を0.7ポイント上回った。

〔脳血管疾患〕 1,947人で前年に比べ156人増加した。男は969人で前年に比べ85人増加し、女は978人で前年に比べ71人増加した。全死因に占める割合は8.0%で前年の7.7%より0.3ポイント上昇、全国の7.3%を0.7ポイント上回った。

第7表 三大疾病死亡数・死亡総数に占める割合，性・年齢（10歳階級）別

		総数	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	65歳～再掲	2年総数
死亡総数	総数	24,304	60	76	118	348	786	1,827	4,995	16,094	22,258	23,286
	男	12,726	34	55	79	242	542	1,313	3,395	7,066	11,316	12,044
	女	11,578	26	21	39	106	244	514	1,600	9,028	10,942	11,242
三大疾病	総数	11,740	7	10	37	176	461	1,151	2,880	7,018	10,643	11,355
	男	6,415	5	7	22	115	294	799	1,937	3,236	5,702	6,164
	女	5,325	2	3	15	61	167	352	943	3,782	4,941	5,191
悪性新生物	総数	5,993	5	7	20	96	277	798	1,836	2,954	5,304	5,950
	男	3,604	3	4	7	46	143	530	1,244	1,627	3,227	3,507
	女	2,389	2	3	13	50	134	268	592	1,327	2,077	2,443
心疾患	総数	3,800	2	3	7	47	118	230	656	2,737	3,541	3,614
	男	1,842	2	3	6	44	98	181	425	1,083	1,623	1,773
	女	1,958	-	-	1	3	20	49	231	1,654	1,918	1,841
脳血管疾患	総数	1,947	-	-	10	33	66	123	388	1,327	1,798	1,791
	男	969	-	-	9	25	53	88	268	526	852	884
	女	978	-	-	1	8	13	35	120	801	946	907

(注) 総数には年齢不詳を含む。

### (2) 疾病・年齢・性別構成割合 (%)

		総数	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	65歳～再掲	2年総数	全国3年
死亡総数	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
三大疾病	総数	48.3	11.7	13.2	31.4	50.6	58.7	63.0	57.7	43.6	47.8	48.8	48.7
	男	50.4	14.7	12.7	27.8	47.5	54.2	60.9	57.1	45.8	50.4	51.2	51.2
	女	46.0	7.7	14.3	38.5	57.5	68.4	68.5	58.9	41.9	45.2	46.2	46.0
悪性新生物	総数	24.7	8.3	9.2	16.9	27.6	35.2	43.7	36.8	18.4	23.8	25.6	26.5
	男	28.3	8.8	7.3	8.9	19.0	26.4	40.4	36.6	23.0	28.5	29.1	30.1
	女	20.6	7.7	14.3	33.3	47.2	54.9	52.1	37.0	14.7	19.0	21.7	22.7
心疾患	総数	15.6	3.3	3.9	5.9	13.5	15.0	12.6	13.1	17.0	15.9	15.5	14.9
	男	14.5	5.9	5.5	7.6	18.2	18.1	13.8	12.5	15.3	14.3	14.7	14.0
	女	16.9	-	-	2.6	2.8	8.2	9.5	14.4	18.3	17.5	16.4	15.8
脳血管疾患	総数	8.0	-	-	8.5	9.5	8.4	6.7	7.8	8.2	8.1	7.7	7.3
	男	4.0	-	-	7.6	7.2	6.7	4.8	5.4	3.3	3.8	7.3	7.0
	女	4.0	-	-	0.8	2.3	1.7	1.9	2.4	5.0	4.3	8.1	7.6

## 7 悪性新生物の主な部位別死亡の概要

－死亡率が高いのは「肺」－

悪性新生物による死亡について主な部位別にみると、死亡率が高いのは「肺」で、次で「大腸」、「胃」、「膵」の順となっている。

対前年増減を見ると、「胃」、「肝」、「大腸」、「子宮」は減少し、「膵」、「肺」、「乳房」、「前立腺」は増加した。

第8表 悪性新生物部位別死亡数・率・構成割合，対前年・全国

		群馬県					
		実数		率(人口10万対)		構成割合	
		令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
悪性新生物	総数	5,993	5,950	321.2	316.5	100.0	100.0
	男	3,604	3,507	390.9	377.6	100.0	100.0
	女	2,389	2,443	253.1	256.9	100.0	100.0
胃	総数	663	747	35.5	39.7	11.1	12.6
	男	462	507	50.1	54.6	12.8	14.5
	女	201	240	21.3	25.2	8.4	9.8
肝	総数	371	399	19.9	21.2	6.2	6.7
	男	248	254	26.9	27.3	6.9	7.2
	女	123	145	13.0	15.2	5.1	5.9
膵	総数	548	519	29.4	27.6	9.1	8.7
	男	273	260	29.6	28.0	7.6	7.4
	女	275	259	29.1	27.2	11.5	10.6
肺	総数	1,226	1,153	65.7	61.3	20.5	19.4
	男	891	823	96.6	88.6	24.7	23.5
	女	335	330	35.5	34.7	14.0	13.5
大腸	総数	904	917	48.4	48.8	15.1	15.4
	男	497	503	53.9	54.2	13.8	14.3
	女	407	414	43.1	43.5	17.0	16.9
乳房	総数	222	213	11.9	11.3	3.7	3.6
	男	2	1	0.2	0.1	0.1	0.0
	女	220	212	23.3	22.3	9.2	8.7
子宮	女	95	126	10.1	13.2	4.0	5.2
前立腺	男	242	210	26.2	22.6	6.7	6.0
		全国					
		実数		率(人口10万対)		構成割合	
		令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年
悪性新生物	総数	381,497	378,385	310.7	306.6	100.0	100.0
	男	222,465	220,989	372.7	368.3	100.0	100.0
	女	159,032	157,396	252.1	248.3	100.0	100.0
胃	総数	41,624	42,319	33.9	34.3	10.9	11.2
	男	27,196	27,771	45.6	46.3	12.2	12.6
	女	14,428	14,548	22.9	22.9	9.1	9.2
肝	総数	24,102	24,839	19.6	20.1	6.3	6.6
	男	15,913	16,271	26.7	27.1	7.2	7.4
	女	8,189	8,568	13.0	13.5	5.1	5.4
膵	総数	38,578	37,677	31.4	30.5	10.1	10.0
	男	19,333	18,880	32.4	31.5	8.7	8.5
	女	19,245	18,797	30.5	29.7	12.1	11.9
肺	総数	76,212	75,585	62.1	61.3	20.0	20.0
	男	53,279	53,247	89.3	88.7	23.9	24.1
	女	22,933	22,338	36.3	35.2	14.4	14.2
大腸	総数	52,416	51,788	42.7	42.0	13.7	13.7
	男	28,079	27,718	47.0	46.2	12.6	12.5
	女	24,337	24,070	38.6	38.0	15.3	15.3
乳房	総数	14,908	14,779	12.1	12.0	3.9	3.9
	男	105	129	0.2	0.2	0.0	0.1
	女	14,803	14,650	23.5	23.1	9.3	9.3
子宮	女	6,818	6,808	10.8	10.7	4.3	4.3
前立腺	男	13,216	12,759	22.1	21.3	5.9	5.8

注 1 「肝」：肝及び肝内胆管  
 2 「肺」：気管、気管支及び肺  
 3 「大腸」：結腸、直腸S状結腸移行部及び直腸

## 8 不慮の事故の概要

－不慮の事故による死亡者、交通事故による死亡者はともに増加－

不慮の事故による死亡者数は652人で、前年に比べ7人増加した。死亡率（人口10万対）は34.9で、前年より0.6ポイント上昇し、全国の31.2を3.7ポイント上回った。

このうち交通事故による死亡者数は70人で、前年より22人増加した。死亡率は3.8で、前年より1.2ポイント増加した。

不慮の事故のうち、交通事故の占める割合は10.7%で、前年より3.3ポイント上昇した。交通事故の死亡者割合を年齢構成別でみると、60歳以上が72.9%を占めている。

第9表 不慮の事故－交通事故の死亡者数・率・構成割合

(1) 不慮の事故－交通事故死亡者数・率（人口10万対），対全国

	不 慮 の 事 故						う ち 交 通 事 故					
	群 馬 県			全 国			群 馬 県			全 国		
	死亡数	率	順位	死亡数	率	死亡数	率	順位	割合(%)	死亡数	率	割合(%)
平成11年	701	35.1	26	40,079	32.0	222	11.1	33	31.7	13,111	10.5	32.7
平成12年	677	33.9	33	39,484	31.4	262	13.1	15	38.7	12,857	10.2	32.6
平成13年	677	33.9	32	39,496	31.4	221	11.1	27	32.6	12,378	9.8	31.3
平成14年	717	35.9	24	38,643	30.7	235	11.8	17	32.8	11,743	9.3	30.4
平成15年	626	31.3	35	38,714	30.7	205	10.3	21	32.7	10,913	8.7	28.2
平成16年	634	31.7	31	38,193	30.3	174	8.7	33	27.4	10,551	8.4	27.6
平成17年	651	32.7	36	39,863	31.6	196	9.9	18	30.1	10,028	7.9	25.2
平成18年	672	33.9	28	38,270	30.3	200	10.1	9	29.8	9,048	7.2	23.6
平成19年	644	32.5	31	37,966	30.1	155	7.8	25	24.1	8,268	6.6	21.6
平成20年	633	32.1	35	38,153	30.3	143	7.2	27	22.6	7,499	6.0	19.7
平成21年	617	31.3	33	37,756	30.0	125	6.3	29	20.3	7,309	5.8	19.4
平成22年	713	36.2	29	40,732	32.2	137	6.9	25	19.2	7,222	5.7	17.7
平成23年	674	34.3	34	59,416	47.1	137	7.0	18	20.3	6,741	5.3	11.3
平成24年	688	35.1	32	41,031	32.6	130	6.6	17	18.9	6,414	5.1	15.6
平成25年	695	35.6	27	39,574	31.5	102	5.2	31	14.7	6,060	4.8	15.3
平成26年	751	38.7	23	39,030	31.1	96	4.9	32	12.8	5,717	4.6	14.6
平成27年	664	34.3	28	38,310	30.6	90	4.6	33	13.6	5,646	4.5	14.7
平成28年	673	34.9	29	38,314	30.6	88	4.6	30	13.1	5,280	4.2	13.8
平成29年	699	36.5	28	40,332	32.4	96	5.0	21	13.7	5,004	4.0	12.4
平成30年	715	37.6	27	41,238	33.2	95	5.0	18	13.3	4,595	3.7	11.1
令和元年	679	36.0	25	39,184	31.7	77	4.1	26	11.3	4,279	3.5	10.9
令和2年	645	34.3	27	38,133	30.9	48	2.6	40	7.4	3,718	3.0	9.8
令和3年	652	34.9	27	38,296	31.2	70	3.8	...	10.7	3,535	2.9	9.2

注1 割合は、不慮の事故中、交通事故の占める割合である。

2 交通事故の死亡数は、数値の捉え方の違いにより警察庁の数値と一致しない。  
（警察庁は24時間以内死亡を原則としている。）

(2) 交通事故死亡者数 年齢（10歳階級）別実数・割合(%)

		総 数	～9歳	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	不 詳
群	総数	70	1	1	3	3	7	4	8	18	25	-
	実数											
	男	43	1	1	3	2	6	2	6	10	12	-
	女	27	-	-	-	1	1	2	2	8	13	-
馬	総数	100.0	1	1.4	4.3	4.3	10.0	5.7	11.4	25.7	35.7	-
	割合											
	男	100.0	2	2.3	7.0	4.7	14.0	4.7	14.0	23.3	27.9	-
	女	100.0	-	-	-	3.7	3.7	7.4	7.4	29.6	48.1	-
県	(参考) 総数	100.0	2	4.2	2.1	2.1	6.3	20.8	14.6	18.8	31.3	-
	2年割合											
	男	100.0	5	6.7	3.3	-	10.0	26.7	13.3	23.3	16.7	-
	女	100.0	-	-	-	5.6	-	11.1	16.7	11.1	55.6	-

## 9 自殺の概要

### －自殺による死亡者は減少－

自殺による死亡者数は360人で、前年に比べ2人減少した。死亡率（人口10万対）は19.3で、前年と同じであり、全国の16.5を2.8ポイント上回っている。

男女別の死亡数を前年と比較してみると、男は2人増加し、女は4人減少している。年代別の割合でみると、40歳代、50歳代、70歳代の順に多い。

第10表 自殺死亡者数・率・構成割合  
(1)自殺死亡者数・率(人口10万対)、対全国

	群馬県							全国					
	実数			率			順位	実数			率		
	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女	総数	男	女
平成11年	494	355	139	24.7	36.0	13.7	22	31,413	22,402	9,011	25.0	36.5	14.1
平成12年	494	335	159	24.7	34.0	15.7	21	30,251	21,656	8,595	24.1	35.2	13.4
平成13年	497	333	164	24.9	33.8	16.2	13	29,375	21,085	8,290	23.3	34.2	12.9
平成14年	488	345	143	24.4	35.0	14.1	23	29,949	21,677	8,272	23.8	35.2	12.8
平成15年	562	397	165	28.1	40.3	16.3	12	32,109	23,396	8,713	25.5	38.0	13.5
平成16年	494	379	115	24.7	38.5	11.4	22	30,247	21,955	8,292	24.0	35.6	12.8
平成17年	503	361	142	25.3	36.9	14.1	21	30,553	22,236	8,317	24.2	36.1	12.9
平成18年	503	367	136	25.3	37.6	13.5	22	29,921	21,419	8,502	23.7	34.8	13.2
平成19年	527	371	156	26.6	38.1	15.5	13	30,827	22,007	8,820	24.4	35.8	13.7
平成20年	505	370	135	25.6	38.1	13.5	19	30,229	21,546	8,683	24.0	35.1	13.5
平成21年	538	398	140	27.3	41.1	14.0	13	30,707	22,189	8,518	24.4	36.2	13.2
平成22年	508	366	142	25.8	37.7	14.2	11	29,554	21,028	8,526	23.4	34.2	13.2
平成23年	476	338	138	24.2	34.9	13.8	17	28,896	19,904	8,992	22.9	32.4	13.9
平成24年	459	326	133	23.4	33.8	13.4	9	26,433	18,485	7,948	21.0	30.1	12.3
平成25年	492	335	157	25.2	34.9	15.9	5	26,063	18,158	7,905	20.7	29.7	12.3
平成26年	396	263	133	20.4	27.5	13.5	14	24,417	16,875	7,542	19.5	27.6	11.7
平成27年	418	293	125	21.6	30.7	12.7	7	23,152	16,202	6,950	18.5	26.6	10.8
平成28年	390	262	128	20.2	27.6	13.1	6	21,021	14,642	6,379	16.8	24.1	9.9
平成29年	332	230	102	17.4	24.3	10.5	15	20,468	14,336	6,132	16.4	23.6	9.6
平成30年	339	238	101	17.8	25.3	10.5	11	20,031	13,851	6,180	16.1	22.9	9.7
令和元年	357	247	110	18.9	26.5	11.5	3	19,425	13,668	5,757	15.7	22.7	9.1
令和2年	362	240	122	19.3	25.8	12.8	5	20,243	13,588	6,655	16.4	22.6	10.5
令和3年	360	242	118	19.3	26.2	12.5	6	20,282	13,500	6,782	16.5	22.6	10.7

(2)自殺死亡者数 年齢(10歳階級)別実数・割合(%)

		総数	～9歳	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	不詳
群	総数	360	-	7	43	47	71	61	46	50	35	-
	実数											
	男	242	-	5	29	35	50	46	29	30	18	-
	女	118	-	2	14	12	21	15	17	20	17	-
馬	総数	100.0	-	1.9	11.9	13.1	19.7	16.9	12.8	13.9	9.7	-
	割合											
	(%)											
	男	100.0	-	2.1	12.0	14.5	20.7	19.0	12.0	12.4	7.4	-
	女	100.0	-	1.7	11.9	10.2	17.8	12.7	14.4	16.9	14.4	-
県	(参考) 総数	100.0	-	3.6	12.4	11.9	19.6	13.5	11.9	15.7	11.3	-
	2年割合											
	(%)											
	男	100.0	-	4.2	12.9	12.9	20.4	14.2	11.7	13.8	10.0	-
	女	100.0	-	2.5	11.5	9.8	18.0	12.3	12.3	19.7	13.9	-



発 行	群馬県健康福祉部健康福祉課
	〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目一番一号
電 話	027-223-1111 (代表)
	027-226-2511 (健康福祉課直通)
F A X	027-243-2670



